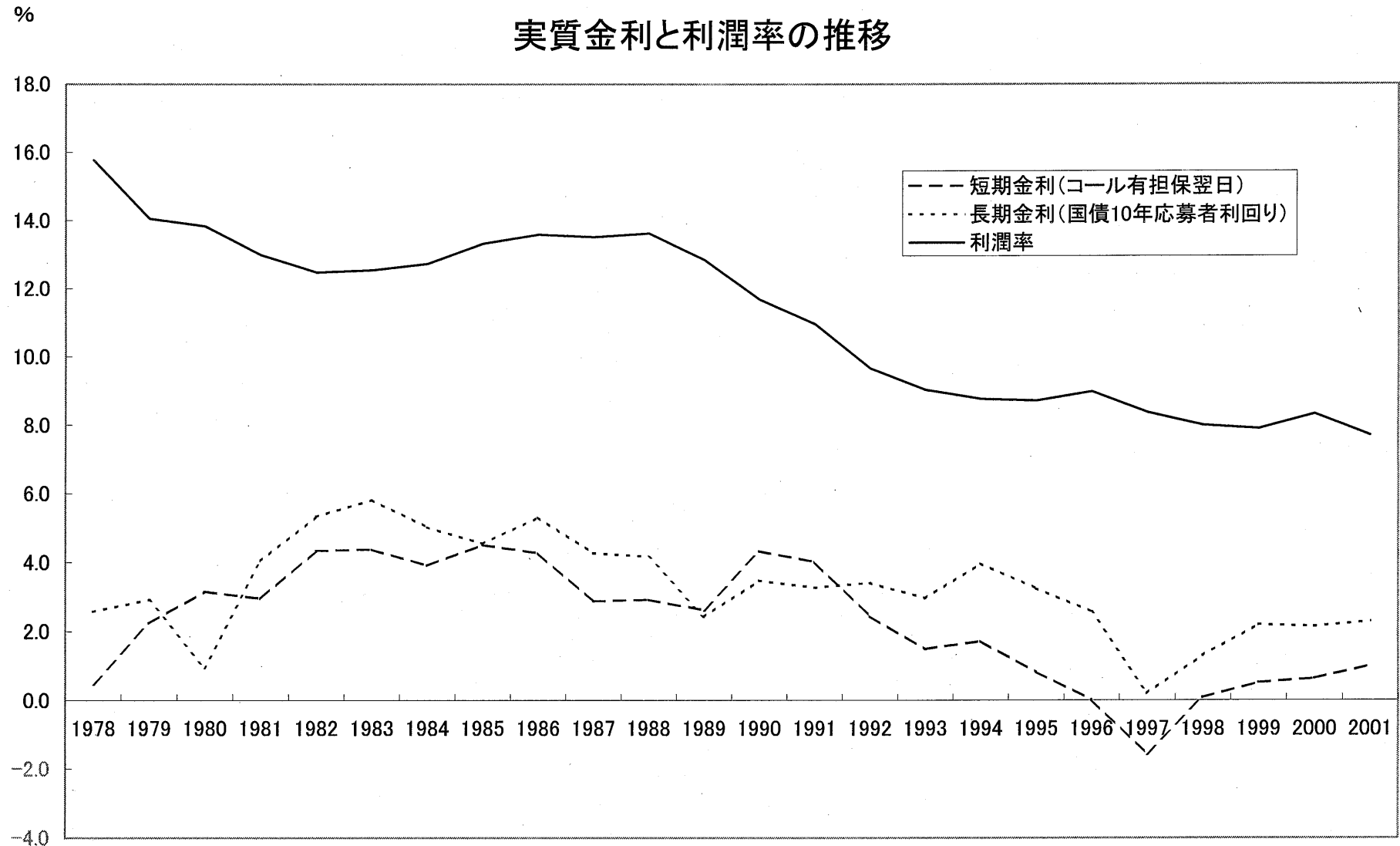


実質賃金上昇率及び 実質金利の見通しについて

参考資料

実質金利と利潤率の推移



(注1) 利潤率はコブ・ダグラス型利潤率はコブ・ダグラス型生産関数より求まる減価償却後の利潤率の式、「 $利潤率 = 資本分配率 \times GDP \div 資本ストック - 資本減耗率$ 」を用い、資本分配率は「 $1 - 雇用者報酬(所得) / (固定資本減耗 + 営業余剰 + 雇用者報酬(所得))$ 」、資本ストックは「有形固定資産」、資本減耗率は「 $固定資本減耗 / 有形固定資産(暦年)$ 」とし、国民経済計算の数値により計算。

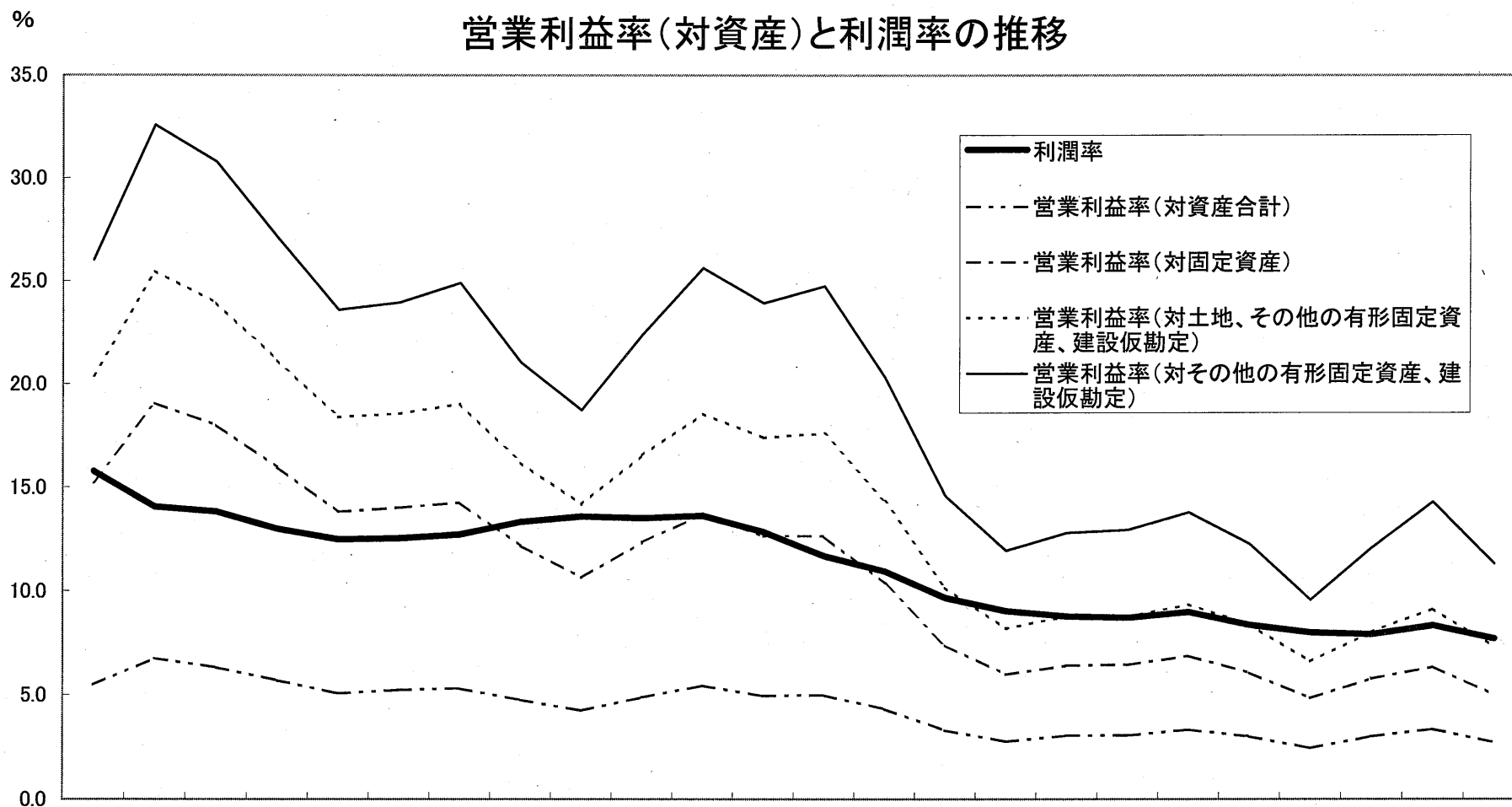
(注2) 実質金利は名目金利 - CPI上昇率により計算。

利潤率と金利の比例関係の統計的検証

		R	決定係数 R ²	係数 α	T値	P値
短期金利	原数値	0.53	0.28	0.21	8.15	0.00%
	3年平均	0.64	0.41	0.23	9.78	0.00%
	5年平均	0.69	0.48	0.23	10.78	0.00%
長期金利	原数値	0.44	0.19	0.29	12.75	0.00%
	3年平均	0.61	0.37	0.30	16.30	0.00%
	5年平均	0.80	0.64	0.31	24.70	0.00%

(注) $Y(\text{金利}) = \alpha \cdot X(\text{利潤率})$

営業利益率(対資産)と利潤率の推移



(注1) 利潤率はコブ・ダグラス型利潤率はコブ・ダグラス型生産関数より求まる減価償却後の利潤率の式、「利潤率=資本分配率×GDP÷資本ストック-資本減耗率」を用い、資本分配率は「1-雇用者報酬(所得)／(固定資本減耗+営業余剰+雇用者報酬(所得))」、資本ストックは「有形固定資産」、資本減耗率は「固定資本減耗／有形固定資産(暦年)」とし、国民経済計算の数値により計算。

(注2) 営業利益率(対資産)は、法人企業統計季報により、年度合計の営業利益を、期首及び四半期毎の期末の資産平均で除して計算。

(注3) 資産については、「資産合計」と、資産合計から流動資産等を除いた「固定資産」、固定資産から投資その他の資産等を除いた「土地、その他の有形固定資産、建設仮勘定」、さらに土地を除いた「その他の有形固定資産、建設仮勘定」についてそれぞれ計算。

